

「『いわて若者カフェ』企画・運営等業務」に関する質問・回答票

R6.3.1

| No. | 資料名称 | 該当頁 | 該当項目 | 質問内容 | 回答 |
|-----|-------|-----|----------|--|---|
| 1 | 業務仕様書 | 6 | 6 業務内容 | カフェマスターの提案人数を確認したい。 | 連携拠点の役割を果たせる場所を使用できるカフェマスターを4人、それ以外のカフェマスターを3人提案いただきたい。 |
| 2 | 業務仕様書 | 4 | 4 基本的考え方 | いわてネクストジェネレーションフォーラムと連携した取組は必須か | 必須ではないが、県の若者活躍支援施策の大きなイベントであり、ぜひ連携を意識して提案いただきたい。 |
| 3 | 業務仕様書 | 6 | 6 業務内容 | 受託者が直接実施するイベントは3回で良いか。 | 3回で良い。 |
| 4 | 業務仕様書 | 8 | 6 業務内容 | 連携拠点への40万円については、拠点に渡し切りのイメージか。 | 最大で40万円ということ。拠点の不用残については、本業務内の別の事業で活用する等、適宜、受託者が管理いただきたい。 |
| 5 | 実施要領 | 1 | 2 資格要件 | 複数団体等による合同若しくは連携の提案は可能か。 | 可能である。 |
| 6 | 業務仕様書 | 8 | 6 業務内容 | 伴走支援について、カフェマスターの紹介等により、マスター以外のゲスト支援者に謝金を支払うことは可能か | 可能である。 |
| 7 | 業務仕様書 | 4 | 5 業務体制 | 人員は採択後に募集で良いのか(このために事前に人員を確保しておくことが難しいため) | 人員募集をいつ時点で行うのかは提案者に任せるが、業務体制は提案及び審査事項に含まれており、契約後に提案時の業務体制を実施できないというのは認められないこと。 |
| 8 | 業務仕様書 | 4 | 4 基本的考え方 | 地域おこし協力隊という制度を利用してよいのか。 | 地域おこし協力隊は、活動する個人ごとにミッションが異なるものであり、実際には、当該カフェの取組と親和性の高いミッションを持つ協力隊員に、市町村等の許可を得ていただいたうえで連携する形を想定している。 |